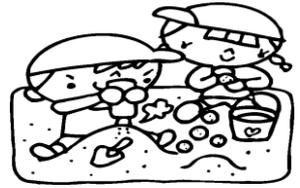




ねんしょうだより

令和5年6月8日
川口市立舟戸幼稚園
年少組

晴れた日には園庭遊び、雨の日では室内遊びと元気いっぱい過ごしている子ども達。
6月は季節の変わり目でもあり、子ども達の体調にも留意しなければならない季節です。体調管理に気をつけながら過ごしていきたいと思ひます。



おうちごっこたのしいね

子ども達も園生活の仕方や流れが分かり、自分から好きな遊びに取り組むようになりました。遊びの場も、保育室、にじの広場（玄関前の広場）、園庭と広がり、いろいろな遊びに興味をもって楽しむようになりました。

保育室では、ブロックをつなげて車をつくって走らせたり、大きな模造紙に好きな絵を描いたりして、友達と同じものや同じことをしたいという気持ちが出てきました。子ども達が大好きなにじの広場ではごちそうをつくって机にお皿を並べたり、ベッドをつくったりと一緒におうちごっこを楽しんでいます。一人一人の思いに寄り添いながら、「楽しい」「またやりたい」という気持ちで楽しく園生活が過ごせるように配慮していきます。

「幼児期の終わりにまでに育ってほしい姿」の『豊かな感性と表現』につながる姿が見られます。

水・砂冷たくて気持ちいいね

日差しが差し込む園庭では、水分補給・体調管理に気を付けながら、子ども達と楽しく砂遊びをしています。山づくりやごちそうをつくったり、穴を掘っては池や川をつくったり、たくさん水を入れて水の冷たさ、砂の感触を楽しみながら遊んでいます。

バケツに砂をたくさん入れて逆さまにして出して、草花を添えてケーキをつくったり、魚や丸型の遊具に砂を入れて、ごちそうをつくったり、船や汽車の遊具を使って砂の道路に走らせて遊んでいます。最近、年長・年中さんのお兄さんお姉さんの姿を見て、泥団子をつくって、つくった泥団子を水が入ったバケツに入れて水に溶かす遊びをしています。なんで水に入れると溶けるのか子ども達は不思議で、「きえちゃった!」「もういっかいつくろう!」と笑いながらつくっています。互いに笑顔になる姿がとても微笑ましいです。遊びのなかでいろいろなことを経験していけるように環境づくりをしていきたいと思ひます。

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の『協同性』『言葉による伝え合い』につながる姿が見られます。

みんなで食べるとおいしいね

毎日楽しみにしているお弁当の時間。机を並べると、レストランの開店です。「今日は誰と一緒にかな」と毎日ドキドキわくわくしている子ども達。準備や片づけの手順も覚え、次にすることを自分でがんばろうとする姿が見られます。机を並べて、お友達の顔を見ながら食べる食事がいつもとは違う特別な思いをもっているようです。「見て、全部食べたよ!今日もおいしかった!」と、嬉しそうに空っぽになったお弁当を見せてくれます。食べ終わった後は、絵本を見たり、ブロックをしたりゆっくりと体を休めることの大切さを伝え、休息をしています。いつも、おいしいお弁当をつくってくれるお家の方への感謝の気持ちを忘れないように声をかけていきます。

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の『健康な心と体』『自立心』『道徳性・規範意識の芽生え』につながる姿が見られます。

6月・7月は次のようなねらいをもって進めていきます

○先生や友達と一緒に過ごす中で、自分の好きな遊びを楽しむ。

○いろいろな素材に触れ、使ったり遊んだりする楽しさを感じる。

○水や砂の感触や気持ちよさを感じながら遊びを楽しむ。

○夏ならではの遊び（水遊びなど）を感じながら楽しむ。



みんなで食べるとおいしいね